

コウノトリもくらすまち雲南市



幸せを運ぶコウノトリ 3年連続で4羽のヒナがうまれました!

雲南市では、コウノトリが2017年から野外で子育てをしており、3年連続で4羽のヒナがうまれました。これは全国でも珍しいことです。美しい棚田で知られる雲南市。農家の人たちが昔ながらの米づくりをたやさないように続け、里山を守ってきたことが、コウノトリが暮らしやすい環境につながったと考えられています。



雲南市生まれのコウノトリの愛称

地域の人たちにかわいがって もらえるように、ヒナの愛称は 2羽は市民から募集し、残り 2羽は西小学校の児童が考え ています。	2017年		2018年		2019年	
	愛称	性別	愛称	性別	愛称	性別
	春希(はるき)くん	オス	はるか	メス	れいな	メス
	うらくん	オス	らいむ	メス	ほのか	メス
	姫(ひめ)ちゃん	メス	永遠(とわ)	メス	いぶき	オス
	げんちゃん	オス(死亡)	きらら	メス	あおば	メス

解説

どんな鳥?

コウノトリは昔から日本各地で見られる鳥でしたが、環境の悪化等で個体数が減り、日本の野生のコウノトリは1971年にいなくなりました。1980年代、兵庫県豊岡市内で人工繁殖に成功。2019年9月現在は185羽ほどのコウノトリが野外で暮らし、全国各地に広がっています。島根県でも各地でコウノトリが確認されています。



- 体の長さ** 100~110cm
- 翼を広げた長さ** 200~220cm (大人用の布団の縦の長さぐらい)
- 体重** 4kg~5kg
- 食べるもの** ドジョウやフナなどの魚、カエル、ネズミ、ヘビ、昆虫など
体が大きなコウノトリは食べる量もたくさん!
親鳥2羽とヒナ4羽の家族が1日に食べる量は約5kg。
雲南市で子育てにじゅうぶんなエサがとれることがわかります。

コウノトリに出会ったときのルール

- 観察するときは、少なくとも150m以上はなれる
- 大きな音や大声でおどかさないように、静かに見守る
- 追いかけて回さない
- 野生の生き物なので、エサをやらない
- 写真をとるときは、フラッシュを使わない
- 私有地や進入禁止の農道などには、絶対に入らない
- 駐車トラブルなどに注意し、地域の人に迷惑をかけないようにする



親鳥と4羽のヒナたち